

令和4年度実施施策に係る政策評価結果概要(水産行政分野)

(評価がA'、Cの測定指標)

整理 番号	政策分野名	測定指標	評価 (達成 度合い)	単位	基準値	令和4年度		【上段】要因分析 【下段】対応方針	達成度合い 計算式
						目標値	実績値		
6水産物の安定供給と水産業の健全な発展									
6	㊸水産資源 管理の着実 な実施	資源管理協定への移行 割合	C (6%)	%	0	100	6	資源管理協定の基となる、国の定める資源管理基本方針及び都道府県の定める都道府県資源管理方針は、国及び都道府県が随時検討を進めている最中であり、一部資源については検討が完了したものの、全体としてはまだ資源管理協定への移行の準備段階であるため、目標値と実績値で差異が発生したと考える。	当該年度の実績値/ 当該年度の目標値 × 100
						資源管理基本方針及び都道府県資源管理方針の検討が完了し次第、順次資源管理協定への移行が進んでいき、本測定指標は令和5年度中に目標達成される見込みである。			
7		特定水産動植物(あわ び、なまこ、うなぎの稚 魚)制度違反の検挙件数	A' (2,720%)	件	0	10	272 (令和 3年度)	特定水産動植物制度は令和2年12月に施行された制度であり、制度違反の検挙件数は、比較すべき過去のデータがなく、また、各取締機関によって行われるものであること等から、昨年度、各年度10件という目標値を仮置きとして設定していたところ、実績との差異が発生したと考える。	当該年度の実績値/ 当該年度の目標値 × 100
						令和3年度実績が把握できたことから、令和5年度以降の目標値については見直しを検討。法改正による厳罰化で密漁への抑止力を高め、取締活動の実施を通じて先々減少していくことが望ましいと考えているものであることから、目標値を「対前年減又は同数」とする考えである。			
27	㊸漁村の活 性化の推進	漁港における新たな海業 等の取組数	C (30%)	件	0	100	30	海業は新たな取組であり、周知や先行事例の横展開中のため、取組の浸透に時間を要していること、また、民間参入に向けた環境整備促進を目指した法改正前であったことから、目標値と実績値で差異が発生したと考える。	当該年度の実績値/ 当該年度の目標値 × 100
						令和5年度は、関係省庁との連携による支援事業等のとりまとめや地方への普及を進めていること、令和6年度には改正漁港漁場整備法が施行されるなど、取組に関わる制度が整ってくることから、今後は更なる取組が期待でき、実績値も着実に向上するものと考ええる。			